



同時発表：国土交通記者会、広島県政記者クラブ

平成 27 年 5 月 1 日
航 空 局

広島空港における I L S（カテゴリー I）運用再開の予定について

平成 27 年 4 月 14 日から運用停止しておりました広島空港の I L S は、今般、仮設機材による仮復旧作業が完了する見込みです。

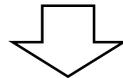
I L S（カテゴリー I）の運用は、最も早い場合で平成 27 年 5 月 4 日（時間未定）から再開する予定です。

なお、運用再開にあたっては、航空局所有の飛行検査機による性能確認を行うため、天候状況等により延期される可能性があります。

I L S（カテゴリー I）を使用することにより、西側（滑走路 10 側）からの着陸時における気象条件が以下のとおり緩和されます。

現在の着陸時における気象条件

滑走路方向の地上視程が 1, 600m 以上であること。



I L S（カテゴリー I）着陸時における気象条件（5 月 4 日予定 時間未定）

滑走路方向（滑走路 10 側）の視程が 550m 以上であること。

その他、カテゴリー III の本格復旧については鋭意進めており、現時点では年内に運用を再開できる見通しです。

参考：I L S（Instrument Landing System 計器着陸装置）

問い合わせ先

国土交通省航空局交通管制部管制技術課 坂上
TEL:03-5253-8111（代表）（内線 51432）

TEL:03-5253-8755（直通）

国土交通省大阪航空局 広島空港事務所 久貝

TEL:0848-86-8650（直通）